

**2022年度 世界展開力強化事業**  
**太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム**  
**パラオ・グアム研修 募集要項**

琉球大学の長期ビジョンにおいて「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」及び「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点地なる大学」を将来像として掲げ、当該地域のリーディング教育研究機関として、島嶼課題の解決に資する人材を育成することを使命としている。

本学では、平成30年度国際化拠点整備事業（大学の世界展開力強化事業）に「COIL\*型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成」が採択された。本事業は、本学とハワイ大学及びグアム大学との間の通信システムを活用した交流の実績に基づいて、太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成を目的としている。この目的のもとに、国際交流を核とした太平洋島嶼地域課題研修プログラムとして、歴史、文化、地域課題等、特定のテーマについての短期型研修プログラムを実施する。

\*COIL(Collaborative Online International Learning)：オンラインを活用した国際的な双方向の教育手法。

**1 募集対象の派遣先大学及び派遣人数**

グアム大学（グアム）およびパラオ地域短期大学（パラオ共和国）とし、派遣人数は9名以内とする。

**2 派遣期間（予定）**

14日間（2022年9月6日（火）から9月19日（月）まで \*検疫期間を含む）

※派遣先の新型コロナウイルス感染症による検疫期間等が緩和された場合、派遣期間が短くなる場合があります。

**3 対象者**

派遣時に本学に在学している（休学等をしていない）学部学生2年次～4年次  
（2022年度9月卒業予定者を除く）

**4 履修科目及び単位付与**

本プログラムに参加する学生は「海外文化研修A（英語圏）」（2単位）を登録し、プログラム修了後、プログラム担当教員が評価し、単位を付与する。事前事後学習及び帰国後の提出書類（レポート含む）があることを了承の上、応募すること。ただし、既に当該科目を履修済みの者は本科目への登録は原則認められないが、参加を希望する者は「14 問合せ先」に問い合わせること。

**5 派遣プログラム概要（予定）**

**I プログラム内容（派遣期間中）\*下段のプログラム予定表も参照のこと。**

（1）派遣国・地域に関する理解を深める学習（文化、環境等）

- (2) 地域課題についての学習（講義、フィールドスタディ等）
- (3) グアム大学、パラオ地域短期大学学生との交流
- (4) 太平洋地域の持続可能性の課題についての英語でのプレゼンテーション（学校交流）  
 ※パラオでの交流時、以下のテーマについてパワーポイントを使ったプレゼンテーション（20分程度、質疑応答含む）にて発表。  
 テーマ：政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策、自然、学校紹介、地域の魅力、先端技術、伝統芸能、ポップカルチャー
- (5) 在パラオ日本国大使館表敬訪問

## II 事前学習

下段のプログラム予定表に記載された事前研修①～⑥の全日程に参加し、出発前に下記（1）～（5）の事前学習を行うこと。

- (1) オリエンテーション
- (2) グアム・パラオを含む太平洋島嶼地域の歴史、文化、政治、経済、宗教、民族等についての事前学習
- (3) 日本・沖縄の歴史、文化、政治、経済、先端技術についての事前学習
- (4) 太平洋地域の持続可能性の課題についてのプレゼンテーションに向けての準備  
 ※上記（2）～（4）の事前学習の中でCOIL型オンライン授業や留学生との交流学习を含む。
- (5) オンラインによる留学プログラムの効果測定調査（BEVI\*）への回答

\*BEVIとは、回答者の基本的な開放性、他人をステレオタイプ化する（しない）傾向、自己および感情認識、異文化体験の影響による参加者の変化を測定するオンラインアセスメントツールです。

## III 事後学習

- (1) 帰国後、2週間以内にレポートを提出すること。
- (2) 留学報告会における発表、もしくは、別途時間を設定して留学生との交流学习
- (3) ホームページ、SNS等による体験談等情報発信
- (4) プログラム終了直後と終了2-3ヶ月後にオンラインによる留学プログラムの効果測定調査（BEVI）への回答

プログラム予定表 ※予定、若干の変更あり	
日付	内容
9月1日(木)	事前研修① 講義受講：サステナビリティと Society 5.0*
9月1日(木)	事前研修② 講義受講：沖縄の文化
9月1日(木)	事前研修③ 講義受講：太平洋島嶼地域の文化

9月2日(金)	事前研修④ 講義受講：プレゼンテーション準備・確認・練習
9月2日(金)	事前研修⑤ 講義受講：プレゼンテーション準備・確認・練習
9月2日(金)	事前研修⑥ 講義受講：プレゼンテーション最終確認、派遣前オリエンテーション
9月6日(火)	那覇空港出発ーグアム到着
9月7日(水)	学生交流、協働学習（グアム）
9月8日(木)	学生交流、協働学習（グアム） グアム出発ーパラオ共和国到着
9月9日(金)～ 12日(月)	自己健康観察期間（パラオ）
9月13日(火)	プレゼンテーション演習、協働学習、実地研修（パラオ）
9月14日(水)	プレゼンテーション演習、協働学習、実地研修（パラオ）
9月15日(木)	プレゼンテーション演習、協働学習、実地研修（パラオ）
9月16日(金)	プレゼンテーション演習、協働学習、実地研修（パラオ）
9月17日(土)	島内視察（パラオ）
9月18日(日)	島内視察（パラオ）
9月19日(月祝)	パラオ共和国出発ーグアムー那覇空港到着・解散
9月下旬以降	事後活動 研修報告書の作成・提出・報告会において発表

\*Society 5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

（引用： [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)）

## 6 参加条件

以下（1）～（11）の全ての条件を満たす者。

- （1）「大学英語」および「英語講読演習中級」を履修済みである者。（「英語講読演習中級」の履修については要相談）
- （2）日本国籍を有する者、又は日本に居住し日本の永住権を有する者。  
※JASSO奨学金を受給希望の場合。
- （3）本事業の趣旨・目的を理解し、それに沿った活動ができる者。
- （4）派遣対象国・地域に興味・関心があり、同国・地域について学ぶ意欲があり、積極的に交流し、コミュニケーションをとることができる者。
- （5）規律ある団体行動ができる者。
- （6）プログラム担当教員・担当職員の指示に従うことができる者。
- （7）事前・事後学習を含め、全てのプログラムに参加できる者。

※事前学習を無届欠席した場合は、海外派遣を認めないので留意すること。ただし、体

- 調不良など相応の理由があり届出欠席した場合は、適宜、補講等を受講すること。
- (8) 所定の申請書類等に必要事項を漏れなく記入し、以下に記載の＜留意事項等＞に従える者。
  - (9) 帰国後にレポート提出をもって単位認定を受ける意思のある者。
  - (10) 帰国後も本事業への参加協力要請に対し、積極的に貢献する意思のある者。
  - (11) プログラム終了後、GTEC4技能テストを受検すること（学内で1年次、3年次対象に行われるGTEC2技能は別途受検を要する。）

＜留意事項＞ ※下記の情報は変更される事があります。

- ・渡航前に新型コロナワクチンのワクチン接種を2回済ませており、最後の接種日が渡航日から数えて2週間以上経っていること。
- ・渡航前までに居住する市区町村から発行されるワクチン接種証明書（QRコード付き）を取得しておくこと。申請から受け取りまで時間を要するので、最低でも渡航の2週間前には申請しておくこと。
- ・出発前の14日間、屋内での大規模集会への参加を自粛し、ソーシャルディスタンスを実施し、外出の際はマスクを着用し、体調管理に務めること。
- ・入国に際しグアムもパラオもビザは不要だが、米国のESTAを各自で申請し（費用14ドル）申請許可のコピーを取っておくこと。余裕を持って出発3日前までには取っておくこと。
- ・グアムに到着する72時間前からアクセス可能なグアム電子税関申告書(Guam Electronic Declaration Form)を行なっておくこと。 → <https://cqa.guam.gov/>
- ・パラオ入国には、ワクチン接種証明書と日本出発3日前以内に受検したPCR検査（鼻咽頭ぬぐい、咽頭ぬぐい、鼻腔ぬぐい及び中鼻甲介ぬぐいの検体）又は日本出発1日前以内に受検した抗原検査による陰性証明書の航空会社への提出が必要。海外渡航用ワクチン予防接種証明書は市区町村が発行するものが使用可能。証明書等は、英文の証明書を用意すること。
- ・米国に入国する際に求められる宣誓書フォーマットを、出発前までに各自作成しておくこと。その他、パラオ政府に求められる書類があれば各自で確認して準備しておくこと。  
（宣誓書→）<https://www.cdc.gov/quarantine/pdf/NCEZID-combined-disclosure-attestation-en-508.pdf>
- ・滞在期間中に現地の医療機関を受診する際は、保険が効くまでの間自費負担を求められる場合に備えてクレジットカードを準備しておくこと。
- ・日本帰国72時間前に現地で受ける検査費用は自己負担となるため、十分な現金を持って渡航に臨むこと。
- ・帰国時、日本入国前に入国者健康居所確認アプリ（MySOS）の携帯へのアプリ登録が求められるので、事前にWebで手続きを済ませること。また質問票への記入、誓約書の記入、日本から持ってきたワクチン接種証明書の提示、出国72時間以内の陰性証明書の提示も求められるので手元に準備しておくこと。到着空港での入国時検査は免除される。
- ・万が一現地での検査により陽性となり帰国を延期せざるを得なくなった場合は、引率教員の付き添いはなく、個人で退院の手続きや空港までの移動を行うことになる。その他のリ

スク等についても各自で対策を講じ、保護者とも十分に話し合いをしてから応募すること。

- ・渡航にあたっては以下のリンクを参考にし、現地の最新情報も確認しておくこと。

(在ハガツニヤ (グアム) 日本総領事館) [https://www.hagatna.us.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.hagatna.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

(在パラオ日本国大使館) [https://www.palau.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.palau.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

(アメリカ疾病予防管理センター CDC) <https://www.cdc.gov/>

(グアム観光局) <https://www.visitguam.jp/coronavirus/>

(パラオ政府観光局) <https://www.palau.gov.pw/travel>

(パラオ保健・福祉省) <http://www.palauhealth.org/>

## 7 プログラム費用等

費用は、約30～35万円の見込み（航空券、宿泊費込み。ただし個人的費用は含みません。）

下記（3）～（12）は上記金額に含まれていません。

- （1）研修地までの往復国内・国際航空賃
- （2）研修中の宿泊費（部屋代、インターネット、電話料金等を含む。）
- （3）派遣先での移動にかかる交通費
- （4）自宅から那覇空港までの往復交通費
- （5）パスポート未取得者の場合、パスポート申請代金
- （6）ESTA（アメリカ電子渡航認証）に係る費用14ドル
- （7）超過荷物輸送量
- （8）発表等に必要な資材の費用
- （9）滞在中の食費、私的な買い物費用等
- （10）予防接種料金等
- （11）参加決定後の自己都合によるキャンセル料金
- （12）海外派遣学生向け安全管理アシスタンスサービス（OSSMAplus）会費（税込み9,482円）
- （13）その他、新型コロナウイルス感染症に関連する費用等（派遣先入国に必要な日本出発前のワクチン接種証明書（英文）、現地出国前のPCR検査・陰性証明書等）

## 8 費用支援について

### I 世界展開力強化事業による旅費支援

本研修プログラムへの経済的支援として、派遣国までの往復国内・国際航空賃及び宿泊費の内、16万円程度を支援する。本支援は、本学が旅行会社等へ直接支払うものであり、学生へ支給するものではない。実際の支援人数と支援額は、事業全体の状況により変動する。

- （1）支援対象人数  
9名程度
- （2）支援額  
16万円程度（研修地までの往復国内・国際航空賃）
- （3）備考

これまで本事業から経済的支援を受けたことのない学生が優先される。なお、世界展開力強化事業による航空券支援を受けない場合でも、自費での参加は可能。

## II 日本学生支援機構（JASSO）による奨学金

本研修プログラムへの経済的支援として、日本学生支援機構（JASSO）奨学金に応募することができる。受給には条件が伴うため、申請を希望する者は、下記を参照すること。

### （1）対象人数

派遣学生の内6名

### （2）奨学金額

7万円

### （3）応募方法

研修応募申込書の「2. 費用支援について」の「日本学生支援機構（JASSO）による奨学金希望有無」の 希望する にチェックをいれ、本募集要項「9 応募方法」のとおり提出すること。

### （4）備考

- ・日本学生支援機構（JASSO）申請には、本プログラム応募時に提出する成績表を使用します。
- ・日本学生支援機構（JASSO）による奨学金を受給しない場合でも、自費での参加は可能。

## III QUEST基金による奨学金

本研修プログラムへの経済的支援として、後期募集予定のQUEST基金「短期派遣研修プログラム助成」に申請する予定である。詳細は改めて通知予定。

## 9 応募方法

応募者は出願期限までに次に掲げる書類をグローバル教育支援機構開発室に提出すること。応募に必要な全ての様式は下記ウェブページからダウンロードしてください。

Web page: <https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/news/>

### （1）提出書類

- ①応募申込書 ※Wordデータ形式で作成・提出すること。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響下における琉球大学世界展開力強化事業太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム参加についての誓約書兼同意書 ※紙媒体で提出
- ③直近の成績表（GPAの記載があるもの。教務情報システムにログインのうえダウンロードしPDF形式のデータで提出）
- ④語学力証明書（提出可能な場合）  
GTEC、TOEIC、TOEFL、IELTS又は英検など各種英語資格試験のスコアシート等の写し

### （2）提出期限

2022年7月13日（水）まで

### （3）提出先

- ・①、③、④はデータ形式でメールに添付し提出。
- ・②は紙媒体で原本をグローバル教育支援機構開発室に提出

琉球大学グローバル教育支援機構開発室（担当：世界展開力強化事業事務局 久手堅）  
場所：共通教育棟1号館1階グローバル教育支援機構開発室（教育支援課内）  
Email: [r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp)

## 1 0 選考方法

派遣候補者の選考は、提出期限までに必要書類を提出した者について、琉球大学グローバル教育支援機構世界展開力強化事業運営委員会において書面審査を行う。また、必要に応じて面接審査を行う場合がある。

### 1 1 面接日時

面接を実施する場合、グローバル教育支援機構開発室から応募者に個別で通知する。

### 1 2 選考結果の通知

2022年7月下旬予定

※選考結果については、グローバル教育支援機構開発室から応募者に個別で通知する。採否の決定は、書類審査及び面接審査の結果を踏まえた総合的な判断に基づくものであり、採否結果以外（不採用になった理由等）は公表しない。

### 1 3 派遣決定後の流れ及び留意事項について

- (1) 学内選考に合格し、プログラムへの参加が決定した場合、2022年8月から開始される事前研修①～⑥に参加すること。
- (2) 派遣が決定した学生は、派遣期間全日分の海外旅行損害保険（※医療保険とは別）に加入すること。
- (3) 派遣が決定した学生は、本学が契約する「海外派遣学生向け安全管理アシスタンスサービス [OSSMAplus]」へ必ず加入すること。OSSMAplusには医療保険に相当するサービスが付帯している。海外派遣期間に応じた個人会費（税込み 9,482 円）は、自己負担となる。

### 1 4 問合せ先

共通教育棟1号館1階グローバル教育支援機構開発室（教育支援課 隣）（担当：久手堅）  
TEL：098-895-8092  
E-mail：[r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp)  
Web ページ：<https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/>  
※応募に必要な全ての様式は上記のウェブページからダウンロード可能。